

福井県民衛星技術研究組合（略称：FSTR A）の概要

- 設立年月日：平成28年8月19日
- 理事長：進藤 哲次（（株）ネスティ 代表取締役）
- 組合員：（11企業1都道府県）
（株）アクセルスペース、鯖江精機（株）、セーレン（株）、タイヨー電子（株）、（株）ナカテック、（株）ネスティ、春江電子（株）、福井システムズ（株）、福井ネット（株）、富士通（株）、山田技研（株）、福井県
- 事業費：平成29年度111,600千円
- 事業の概要：
 - ・製造プロセスにおける生産性向上、省力化および短納期化につながる研究開発
 - ・衛星から得られるデータを活用したシステム作成のための研究開発

○組合設立の目的

超小型人工衛星の短工期で効率的な量産技術の構築および量産化に適した効率的な設計技術の確立を目指すとともに、衛星から受信するデータ等を活用し、行政課題を解決するシステムや民生利用に供するシステム等の開発を目指す

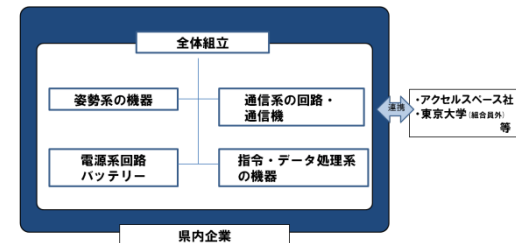
○実用化の方向性

- ・超小型衛星製造業者等と連携し、低コスト高性能化、大量生産化に向けた共同研究開発
- ・県がモデルユーザーとして実際にシステムを活用し、商品のブラッシュアップを図る

○事業化の目途の時期

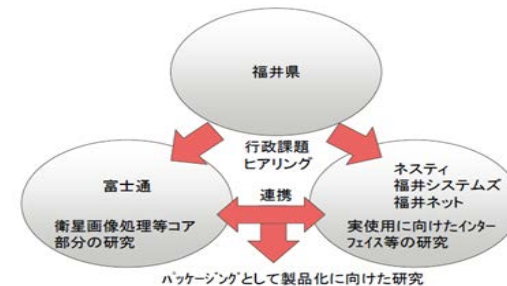
- H28.4～ 超小型衛星製造量産化に向けた設計・製造技術の習得
衛星データによるシステムの構築
- H32.1 衛星の打上げ
以降 大量生産型超小型衛星の受注・販売
衛星データ利用システムの販売

1 超小型人工衛星の量産化に向けた共同研究（イメージ）



※各パーツの全体組立分野を中心に、量産化に向けた効率化を研究

2 衛星データを活用したシステム開発に向けた共同研究（イメージ）



● 研究開発体制

